

諸 会 議 報 告

会 議 名	令和5年第2回カリキュラム評価委員会
開 催 日	令和6年3月27日(水)
報 告 者	藤 永 教 授
議題・報告事項・連絡事項及び要旨	
議題 1. 共用試験 CBT 過去3年分の結果について・・・資料No. 1-1、1-2 議長より資料No. 1に基づき説明があった。2023年度は生体物質の代謝、代謝障害、乳房において、正答率70%を切っていた。 関連して、医学教育研修センターの中島教員から資料No. 1-2に基づいて、入試における生物選択の有無による医学の学修への影響について分析した結果、生物選択の影響が見られるのは1年次のみであり、2年次以降にはその影響が弱まること、また非選択者のほとんどは単位修得に必要な学力を有していることの報告があり、全体へのサポートは不要だが、下位10名程度の生物非選択者へのサポートをすることは可能との報告があった。 また、生体物質の代謝に関連して、生化学について種々意見等をいただき、今後の改善に生かしていくこととした。 2. 共用試験 OSCE 過去3年分の結果について・・・資料No. 2 議長より資料No. 2に基づき説明があった。機構での集計方法が変わったため単純な比較は難しいが、例年同様、患者への配慮や身体診察において「A」評価での合格の割合が高い旨、説明があった。 6年生OSCEについては、例年並みの成績である旨、報告があった。 3. 医学科における進級状況について・・・資料No. 3 議長より資料No. 3に基づき説明があった。留年者数は例年とほぼ同じ程度であり、1、2年でメンタル的に不調になってしまうという傾向が続いている旨、報告があった。 4. 医学科5・6年生における医学生としての能力について・・・資料No. 4 議長より資料No. 4に基づき説明があった。いずれの項目においても5年生よりも6年生の方ができていると回答しており、臨床実習を経て、医学科生としての能力が身に付いていることが示されている旨、説明があった。 5. カリキュラム(2、3年)についての検証・分析と評価・・・資料No. 5 議長より資料No. 5について説明があった。2年生はカリキュラムについて全体の80%以上が満足、おおむね満足の回答があったこと、3年生は2年生と比較するとやや不満が多く、授業内容や試験の頻度等について意見等が寄せられている旨、説明があった。 6. 令和5年度前期授業における点検と評価・分析について・・・資料No. 6 議長より資料No. 5について説明があった。授業アンケートの回収率が、学年が上がると低くなっているため、アンケート協力をお願いしたい旨、説明があった。 7. 信州大学医学部医学科における教育課程の点検・評価の実施について・・・資料No. 7 議長より資料No. 7について説明があった。点検の結果、各項目については概ね良好であるとした。 資料No. 7-10について、医学教育研修センターにおいて県内研修医と直接面談する取り組みを行い、取りまとめたものであり、本学のカリキュラムで学んだことが生かされている、学生生活について満足であった旨の回答を得られている旨、報告があった。 ※協議を要する事項 なし	